

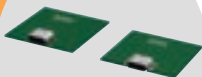
株主・投資家のみなさまへ

# SMIK

## 第97期中間経営報告書

2018年4月1日から2018年9月30日まで

Connection  
System  
Division



USB Type-C™レセプタクル

Functional  
Components  
Division



200万画素  
車載用カメラモジュール

Touch Panel  
Division



CapDuo Touch®-2

Research &  
Development  
Center



Bluetooth® low energyモジュール  
「BTS05シリーズ」

SMIK  
LOGOMOTION



LGMCard

CREATIVE CONNECTIVITY

もっと創造的に、もっと繋がる



代表取締役社長  
**池田 靖光**

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループ第97期中間期（2018年4月1日～2018年9月30日）の事業の概況、業績等につきましてご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

2018年11月

## 当中間期の概況

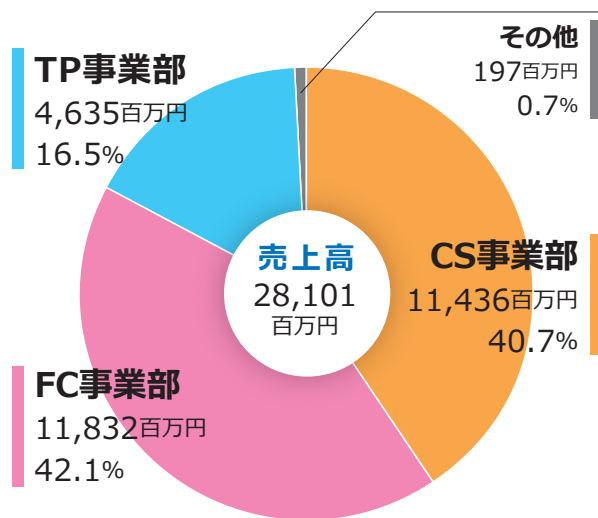
当中間期における世界経済は、米中の追加関税措置発動により貿易摩擦懸念が高まったものの、緩やかな成長を維持することとなりました。日本経済は輸出や個人消費の持ち直しもあり緩やかな成長を維持することとなりました。

当社グループにおきましては、車載市場では車載カメラ用や高速伝送用コネクタが順調に売上を拡大しましたが、ヘルスケア市場向けコネクタの売上伸長が鈍化することとなりました。米国得意先向けセットトップボックス用リモコンについては新製品の受注に成功し、今後業績への寄与が期待されます。一方、情報通信市場の中華圏および米国得意先向けスマートフォン用コネクタ、車載用タッチパネルなどについては、競争の激化により低調な結果となりました。

伸長市場における拡販と固定費削減等に努めましたが、プロダクトミックスの影響や新製品関連の生産コスト増加等の減益要因により、当中間期における連結業績は前年同期比減収減益となりました。

このような環境下で、当社は持続的な成長の実現に向け、主力ビジネスの継続的な拡大と新規市場の開拓に加え、パートナー様との協業やオープンイノベーションの推進による新規事業創出への取り組みを積極的に進めていきます。

当社はこれからも、「CREATIVE CONNECTIVITY」というスローガンのもと、社会やお客様の顕在的・潜在的課題を解決していくチャレンジ精神をもち、独創的なアイデアを創出するクリエイティビティーと、課題を解決するソリューション力を提供し、より良い社会と未来の創出に貢献できる企業を目指してまいります。



※ その他：その他部品事業、リース事業、不動産賃貸事業および労働者派遣事業を含んでおります。

## FC事業部

Functional Components Division

### [主要品目]

- リモコン
- 各種無線ユニット
- スイッチ
- カメラモジュール



ECHONETLite™ 対応  
有線LANアダプタ

用途：一戸建て住宅やマンションなどの  
エアコン、給湯器、床暖房、玄関ドア、  
シャッター、窓等

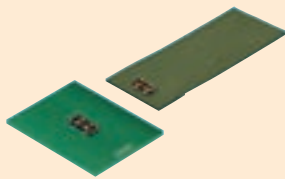
主力のリモコンは、サニタリー用や住宅設備用が引き続き堅調に拡大したのに加え、セットトップボックス用で、米国の得意先向けの新製品の受注に成功したことにより前年を上回る結果となりました。ユニットは、住宅設備向けユニットや車載用カメラモジュールなどが順調に拡大し、前年を大きく上回る結果となりました。スイッチは、スマートフォン用や車載用などが拡大し前年を上回りました。

## CS事業部

Connection System Division

### [主要品目]

- 同軸コネクタ
- 基板対基板コネクタ
- FPCコネクタ
- ジャック



バッテリー接続用  
FPC対基板コネクタ FB-9シリーズ  
用途：スマートフォン、  
タブレットPC、ウェアラブル機器

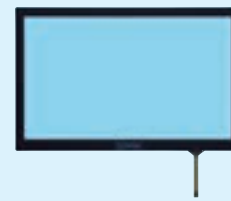
コネクタは、車載市場では自動車の電子化の高まりを追い風に安定成長を継続し、高シェアを維持している車載カメラ用に加え、高速伝送用なども順調に売上を拡大しました。一方、情報通信市場において、スマートフォン用が中華圏および米国得意先における競合コネクタメーカーとの競争激化により苦戦し、前年を下回りました。産機市場においては、好調に伸張してきたヘルスケア関連用が主力市場での普及の一巡により需要拡大が鈍化し、前年を下回る結果となりました。

## TP事業部

Touch Panel Division

### [主要品目]

- 抵抗膜方式タッチパネル
- 静電容量方式タッチパネル



抵抗膜フィルム/  
ガラスタッチパネル「D2 F/G-CNT」  
用途：オフィス機器、工作機械、  
ハンディーターミナル等

タッチパネルにおいては主力の車載向け市場はもとより、他の市場向けも抵抗膜方式から静電容量方式へと需要が大きく移行し、市場環境が大きく変化しております。そのような市場環境変化の中、主力の車載市場においては静電容量方式を中心に北米向けは順調に推移したものの、欧州車向けは多少の需要減がありました。しかし、車載以外の市場では、抵抗膜方式では工作機器向けおよび事務機向けが、静電容量方式ではウェアラブル機器向けタッチパネルの売上が順調に前年を上回り、全体では前年を若干割り込む結果となりました。

### CS事業部：防水FAKRAコネクタ

FAKRA規格対応同軸コネクタで、車載機器でのアンテナ接続用のほか、車載カメラや車両側ECU接続用として開発しました。優れた防水性能を有しているながら小型設計を追求し、また高整合で良好な高周波特性を備えております。今後の車載機器での需要増加に対して事業拡大を図ってまいります。



主な用途：車載機器（アンテナ接続、カメラモジュール接続用）

### FC事業部：温度センサー

HEMS・BEMS市場の拡大により、環境データを収集するニーズに対応するため開発しました。Sub-GHz無線の通信距離の長さを生かし、一戸建て住宅、工場、事務所、店舗など、広範囲で計測した温度情報を通信することが可能です。低消費電力を特長として、コイン電池1個で5年以上動作します（使用環境による）。今後も、スマートホーム・スマートオフィスの発展に貢献する製品の開発を進めていきます。



主な用途：HEMS、BEMS (Home/Building Energy Management System)

### TP事業部：小型（2インチ以下）1層フィルム構造静電タッチパネル用コントローラー

IoT化の流れにより、スマートウォッチ、AIスピーカー等スマートフォン以外の新情報端末が出現しました。これによりタッチ操作が求められる機器も増えており、小型、丸形のタッチパネルが求められるようになってきました。そうした市場の要求に応えるべく、小型、円形のタッチパネルおよびタッチパネル制御用の標準コントローラーを開発し、受注活動を開始しています。



主な用途：スマートウォッチ、ウェアラブル機器、AIスピーカー

### 開発センター：Bluetooth® low energyモジュール「BTS05シリーズ」

Bluetooth5.0 (Bluetooth® Version5.0) に準拠した、小型Bluetooth® low energyモジュール「BTS05シリーズ」を開発しました。Bluetooth® Version5.0で追加された通信方式2M PHY for LEに対応することで、当社従来品に比べ転送速度が向上しました。



主な用途：ホームオートメーション関連機器、モバイルプリンタ、ハンディターミナル等の事務機器

### SMK LOGOMOTION：SLC NFC 小型アンテナ

NFC（近距離無線通信：Near Field Communication）の分野にmicroSDカードに加え超小型アンテナを開発し、受注活動を開始しました。本製品は同等の通信特性を持つ従来のアンテナ（15mm×15mm程度）に比べ、1/10以下のサイズ（9mm×0.95mm×0.8mm）を実現しており、小型の製品にも搭載することができます。今後も、NFCに対応する超小型アンテナのラインナップを拡充してまいります。



主な用途：NFC搭載製品（例：スマートフォン、スマートウォッチ、決済端末等）

## フィリピン工場

### 廃材を利用したスクールチェアの寄付活動

当社グループにおけるフィリピンの生産拠点SMK Electronics (Phils.) Corporationでは、使用済みの梱包木箱とガラスの保護紙から社内製作したスクールチェアとお絵描き帳を、近郊の小学校へ寄付する活動を続けています。これまで、635脚のスクールチェアと635冊のお絵描き帳を子供たちへ贈ることができました。



また、空き缶からゴミ箱とちり取りを製作し寄付する活動も始めています。子供たちに環境保全の大切さを感じ取ってもらえる活動を、これからも続けていきます。

## 「環境保全活動の紹介とものづくり教室」開催

SMK本社にて、品川区環境情報活動センターとの共催で、「環境保全活動の紹介とものづくり教室」を開催しました。本社での開催は今年で4回目となり、品川区の小学生20名とご家族に参加いただきました。

子供たちに「環境保全の大切さ」と「ものづくりの楽しさ」を伝えるプログラムで、当社が国内・海外の事業所で実際に取り組んでいる環境保全活動の紹介や、環境に配慮した材料を使用した電子工作体験を実施しました。



当社発行の「環境報告書」は、こちらからご確認ください。



[https://www.smk.co.jp/eco/pdf/j\\_ecoreport2018.pdf](https://www.smk.co.jp/eco/pdf/j_ecoreport2018.pdf)

### 株式の状況 (2018年9月30日現在)

発行可能株式総数	195,961,274株
発行済株式の総数	75,000,000株
株主数	7,823名
大株主 (上位10名)	

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
SMK協力業者持株会	3,525	5.29
株式会社みずほ銀行	3,287	4.93
日本生命保険相互会社	3,241	4.86
大日本印刷株式会社	3,200	4.80
株式会社三菱UFJ銀行	2,508	3.76
SMK社員持株会	1,868	2.80
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,800	2.70
公益財団法人昭和池田記念財団	1,500	2.25
明治安田生命保険相互会社	1,379	2.07
池田 彰孝	1,341	2.01

(注) 1.当社は自己株式8,333千株を保有しておりますが、上記大株主からは当社を除いており、また、上記持株比率は自己株式を除外して算定しております。

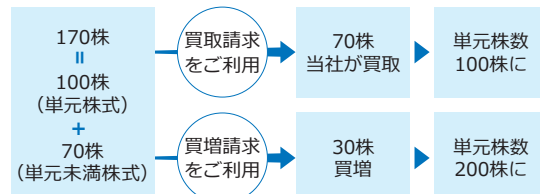
2.当社は2018年10月1日をもって、単元株式数の変更および株式併合を行いました。上記株式の状況は、株式併合前の状況を表示しております。

### 株式に関するお問合せ先・お手続き先

1. 配当金のお振込、単元未満株式の買取・買増請求、特別口座から証券会社の口座へのお振替、住所変更等のお手続き窓口は次のとおりです。

証券会社に口座を開設されている株主様	▶	口座を開設された証券会社にご照会ください。
証券会社に口座を開設されていない(特別口座に記録されている)株主様	▶	当社の特別口座の口座管理機関(兼株主名簿管理人)である三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部(0120-232-711 通話料無料)にご照会ください。

### ● 買取・買増請求制度の例 (170株ご所有の場合)



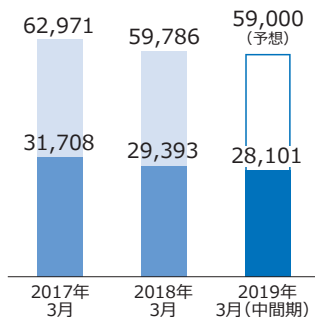
2. 配当金をお受け取りになっていない株主様は、上記の三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部の電話照会先にご連絡ください。

## 売上高

(単位：百万円)

**28,101**百万円  
(前年同期比 4.4%減↓)

■ 中間期 ■ 通期

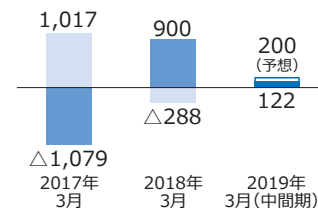


## 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益

(単位：百万円)

**122**百万円  
(前年同期比 86.4%減↓)

■ 中間期 ■ 通期

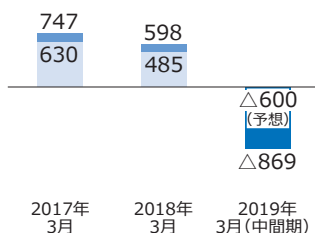


## 営業利益

(単位：百万円)

**△869**百万円  
(前年同期は598百万円)

■ 中間期 ■ 通期

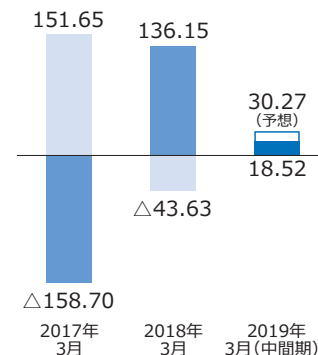


## 1株当たり四半期 (当期)純利益

(単位：円)

**18.52**円  
(前年同期は136.15円)

■ 中間期 ■ 通期



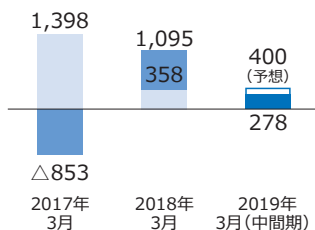
※2018年10月1日付で普通株式10株を1株の割合で併合したため、1株当たり情報は当該株式併合を考慮した金額を記載しております。

## 経常利益

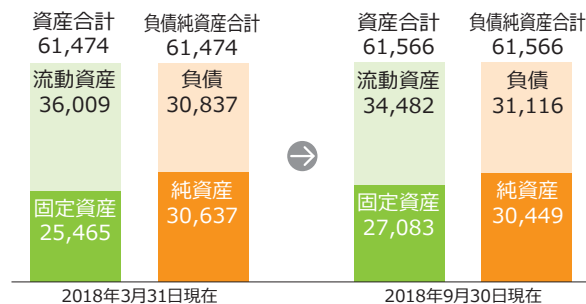
(単位：百万円)

**278**百万円  
(前年同期比 74.6%減↓)

■ 中間期 ■ 通期



## 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)





コーポレートデータ (2018年9月30日現在)

Corporate Data

## 会社概要

商号	SMK株式会社
英文社名	SMK Corporation
創立	1925年(大正14年) 4月 3日
設立	1929年(昭和 4年) 1月15日
資本金	7,996,828,021円
従業員数(SMKグループ)	5,758名
本社	〒142-8511 東京都品川区戸越6丁目5番5号 TEL (03)3785-1111(代表) FAX (03)3785-1878

## 役員一覧

### 取締役および監査役

代表取締役社長	池田 靖光
代表取締役副社長	角 芳幸
取締役常務執行役員	若林 幹雄
取締役常務執行役員	ポール エヴァンス
社外取締役	中村 利雄
社外取締役	石川 薫
常勤監査役	中村 哲也
社外監査役	中島 成
社外監査役	清水 一朗
社外監査役	福井 盛一

### 執行役員

常務執行役員	大垣 幸平
常務執行役員	柳 茂哉
常務執行役員	池尾 政信
常務執行役員	原 哲雄
執行役員	松本 秀夫
執行役員	宮川 宏
執行役員	石橋 竹己
執行役員	後藤 光彦
執行役員	増淵 充行
執行役員	宇佐美 博
執行役員	大日方 淳
執行役員	秦 史和

## ホームページのご案内

当社ホームページでは、事業内容をはじめ、最新のニュースリリースやIR情報を掲載しております。ぜひご覧ください。

SMK

検索

<https://www.smk.co.jp/>

※ CapDuo TouchはSMK株式会社の商標です。

※ Bluetooth®のフードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、SMK株式会社は、これらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

※ ECHONETLiteは、エコーネットコンソーシアムの商標です。

※ USB Type-C™は、USB Implementers Forumの商標です。

※ その他記載されている社名・商品名などは、各社の商標および登録商標です。

**SMK株式会社**